

令和7年度

東京空襲資料展

～戦争の記憶と平和への願いを次世代へ引き継ぐために～

東京は昭和17（1942）年に初めて空襲を受けました。その後、昭和19（1944）年夏以降に空襲は本格化し、昭和20（1945）年3月9日の夜から10日の明け方にかけて、1日で死者数10万人、罹災者が100万人を超えともいわれる大きな被害がありました。これが**東京大空襲**と呼ばれています。私たちの住むこの三鷹でも、空襲により多くの命・建物などが失われました。

戦後80年という歴史の節目にあたり、戦争の記憶を風化させず次世代へ語り継ぐため、今年度は展示内容を拡充して開催します。多くの実物資料やパネルを通じ、当時の暮らしをより詳しくたどることができます。戦時中の暮らしや戦争の悲惨さを物語る資料から、平和の尊さについて考えていただければと思います。



展示期間

2月28日(土)～3月13日(金)正午

※ 3月2日(月)、9日(月) 休館

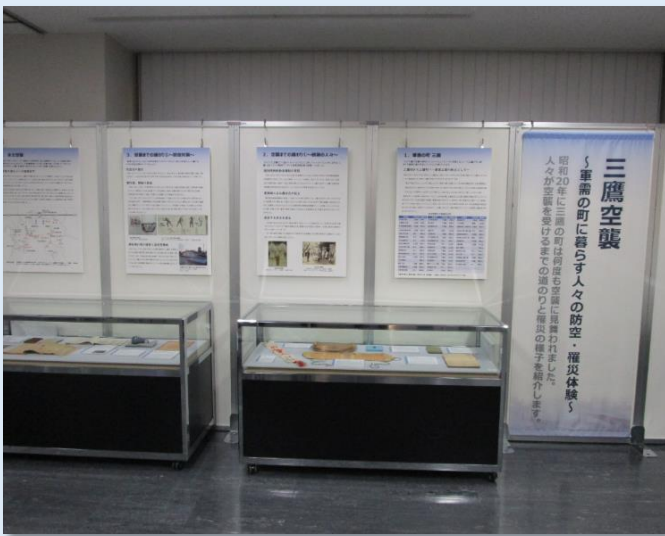
午前10時～ 午後8時

(最終日は正午まで)

会場

三鷹市公会堂
さんさん館
2階展示室兼
会議室1・2

会場へのアクセス



※写真は一昨年の展示の様子です。

展示内容

- ・戦時下の生活を物語る資料
- ・空襲の被害を伝えるパネル
- ・故 長谷緑也氏による絵画
- ・みたかデジタル平和資料館閲覧用タッチパネル など

主催
三鷹市
資料提供
東京都

お問合せ先：三鷹市企画経営課 平和・人権・国際化推進係 ☎ 0422-29-9032